

科目番号	科目名	配当年次	開講学期	授業形態	単位	担当教員
L205	都市と交通Ⅱ	2年	秋	講義	2	古池弘隆
授業概要 都市と交通Ⅰで学んだ交通問題を解決するために、自動運転を含む自動車技術の高度化、交通需要管理、LRTやバスなどの公共交通の推進、自転車交通の推進などさまざまな方法について学びます。また、交通は都市構造のあり方に深く関係していることから、コンパクトシティやTOD、MaaSなどの最新の考え方を海外の最新事例も含めて紹介し、人口減少・少子高齢化時代における持続可能な交通まちづくりについて考えていきます。特に、宇都宮市が現在行っている日本で最初のLRTの新設工事や、自転車のまち推進計画など、交通未来都市への取り組みについてビデオなどを用いて詳しく紹介します						
到達目標(学習の成果) ・都市における交通問題の解決策には、公共交通、自動車、自転車など多様な方法があることを学ぶことができます。(DP3) ・都市と交通に関する問題解決手法として、代替案の列挙と評価の手法を身につけることができます。(DP3)						
授業計画						
回	学修内容	授業外における学修方法				
1	電気自動車などの新しい技術や、自動運転やライドシェアなど次世代の自動車のあり方	事前	シラバスに目を通しておくこと			
		事後	CASEといわれる新しい動きについて復習する			
2	交通渋滞の緩和をめざして、道路交通容量の増大など	事前	より多くのクルマを通すにはどうすればよいか			
		事後	様々な交通容量増大策について整理する			
3	交通需要管理(TDM)の5つの分野における事例	事前	クルマの使い方について考える			
		事後	5つのTDMについて復習する			
4	さまざまな公共交通機関の分類と特徴について	事前	公共交通にはどんなものがあるかを考える			
		事後	公共交通の種類や特徴を整理する			
5	BRTやコミュニティバスなど新しい方式によるバスの活性化	事前	宇都宮市内のバスについて課題を考える			
		事後	バスの活性化について学んだことを整理する			
6	世界と日本のLRT(Light Rail Transit)の歴史と現状、課題	事前	参考書で世界の公共交通について学ぶ			
		事後	授業で学んだ世界と日本のLRTの整理			
7	日本で最初に新設が進む宇都宮LRTの経緯と課題	事前	宇都宮の東側で進むLRTの新聞記事を検索			
		事後	宇都宮LRTの歴史と課題を復習する			
8	宇都宮市が進めているネットワーク型コンパクトシティへ	事前	ネットで宇都宮市のHPでNCCについて調べる			
		事後	NCCの意義や必要性について整理する			
9	公共交通指向型開発(TOD)の海外事例や国内の動向	事前	JR宇都宮駅の東側でのTODについてネット検索			
		事後	宇都宮のLRTとTODの関連性について整理			
10	自動車以外の全ての交通手段による移動を1つのサービスとしてとらえるMaaS(Mobility as a Service)について	事前	MaaSについてネットで検索してみる			
		事後	世界におけるMaaSの実態を復習する			
11	身近な交通手段としての自転車交通の現状と課題	事前	自転車に乗るときにどんな問題があるかを考える			
		事後	自転車に関するハード、ソフトの課題を整理する			
12	世界中で急増しているシェアサイクル	事前	自転車を公共交通の一種と考えてみる			
		事後	シェアサイクルの推移、現状、課題を整理する			
13	宇都宮の自転車のまち推進計画	事前	市のHPで自転車の施策について調べる			
		事後	宇都宮の自転車計画を整理する			
14	健康とまちづくりを目指す歩きたくなるまちなかづくり	事前	オリオン通りなどまちなかを歩いて課題を探索			
		事後	高齢化時代の健康まちづくりの重要性を認識する			
15	脱自動車依存社会をめざす持続可能な都市と交通	事前	これまでの授業を振り返りこれからの施策を考える			
		事後	クルマから人へのパラダイムシフトについて復習			
授業形式(アクティブラーニングの内容) 特になし						

成績評価の方法・基準(%表記)

学期末の定期試験(70%), 授業態度(30%)に基づいて評価します。

観点	S	A	B	C
都市における様々な交通手段に対する理解	完全に理解できている	ほぼ完全に理解できている	十分に理解できている	一定程度理解できている
都市と交通のあり方に関する考え方	完全に理解できている	ほぼ完全に理解できている	十分に理解できている	一定程度理解できている

教科書

教科書は使用しません。

参考書等

西村幸格・服部重敬 都市と路面公共交通 学芸出版社 2000年

市川嘉一 交通まちづくりの時代 ぎょうせい 2002年

交通や都市に関する行政資料などのコピーを必要に応じて配布します。

履修上の注意・学修支援

出席状況・受講態度を重視します。 出欠は毎回授業開始後 30 分の時点でエクセル表示により確認します。

全 15 回の講義の 3 分の 2 以上の出席がなければ期末試験を受験することはできません。

また、授業内容に関する質問を歓迎し、積極的に学生の意見や考え方についての発言を促します。